

季節風

2017.4.25
NO.1

山鹿市立鹿北中学校
文責：郡 一路

◇第四十五回入学式◇

十一日（月）、二十八名の新入生が鹿北中に入学しました。少し緊張した表情からは、これからの中学校生活を頑張ろうという意欲が伝わってきました。

式辞では、三つのことを新入生に伝えました。

一つ目は、中学生になったら自分はこんなことを頑張りたいという「目標」と、将来こんな人になりたいという「夢」をもつこと。

二つ目は、小学校六年間で身につけたたくさんのすばらしい心、挑戦する心、思いやりの心、感謝の心、そして、最上級生としてみんなを引っばってきた「責任を果たそうとする心」を大切にすること。

三つ目は、体験入学の時に

見せてくれた、「やる気」を持ち続けることです。

学校生活は、楽しいことばかりではなく、きついこともあると思います。しかし、だからこそ、目標や夢を見失わず、小学校六年間の学びを土台とし、頑張ろうという気持ちを大切にしたいと思えます。これからの二十八名、そして、全校生徒八十一名の成長を楽しみにしています。



熊本地震募金活動

地震により県内各地で大きな被害が出ています。各ご家庭でも、家族や親戚の方々に被災された方がおられるところもあるかと思えます。心よりお見舞い申し上げます。

私の親戚も熊本市内の池田町に住んでおり、家の中は物が散乱し、壁にはひびが入り、ブロック塀は倒れ、ライフラインの復旧まで大変時間がかかり、元の生活に戻れるのは当分先のように、途方に暮れている状況です。

そんな中、生徒会が中心となり、熊本地震で被災された方々に何かできることはないかと考え、募金活動を行ってくれました。たくさんの生徒が協力してくれる姿を見て、本

当にうれしくすばらしいと思いました。生徒のみなさんの行動に心より敬意を表します。



鹿北中の教育

学校教育目標

「自治力育成となかまづくり、一人ひとりの個性の開花」

目指す学校像

一 生徒をいかに輝く存在にできるかを考え、「教育実践を創造する」鹿北中。

二 感動を共有し、「生徒の夢の実現のための学びを創造する」鹿北中。

三 教師・保護者・地域の強固な連携で「徹底して生徒を育てよう」鹿北中。

四 生徒、保護者、教職員にとつて、「ここ」で学べて「ここ」に通わせて「ここ」に勤められて「良かった」と言える鹿北中。

目指す生徒像

山間の町鹿北を流れる清流の一滴が、やがては大河となり、ついには大海原へと至る。

一 自分を大切にし、その可能性を信じる生徒「己を信じ」

二 自分の力で、自分を伸ばそうとする生徒「己を伸ばす」

三 他者のよさを知り、それを尊敬し、謙虚に学ぶ生徒「友を敬し 友に学ぶ」

四 自分らしく自らの良さを表現する生徒「校訓の実践化による個性の開花」

※ お互いの思いを伝えられる、そんな「なかま」のつながりを。

こんな教育活動を

①自治力育成となかまづくり 生徒会活動の活性化

②生徒一人ひとりの個性の開花 すべての生徒が生き生きと学べる教育環境

③自立した学習者の育成 生活習慣・学習規律について自己コントロール

④九年間の連続した「学び」の創造 小中連携の推進

⑤地域とともにある学校 保護者・地域の方々との協働とコミュニティスクール・学校応援団づくりの推進

⑥地域とともに歩む部活動 小学校や地域と連携して、地域スポーツを通しての生徒の健全育成